

**“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”****☆最初のISS構成要素打上げから1929日経過しました****☆第8次長期滞在クルーのISS滞在は134日経過しました****☆ISS動向**

第8次長期滞在クルーのマイケル・フォールとアレクサンダー・カレリ両宇宙飛行士は、日本時間2月27日午前6時20分から船外活動(EVA)を開始しました。EVAは5時間半におよぶ予定でしたが、カレリ宇宙飛行士の宇宙服にトラブルが発生したため、予定を短縮し、午前10時12分に終了しました。トラブルの内容は、宇宙服の冷却下着の冷却水パイプがねじれていたため冷却水の循環ができず、宇宙服内の温湿度が上昇しヘルメット内側に水滴が大量に付くというものでした。

今回のEVAは途中で中断しましたが、予定していた作業のおよそ60%を終了することができました。実施(完了)した主な作業は次の通りです。

- ・日本の材料曝露実験試料パッケージ(MPAC&SEED)の交換
- ・欧州宇宙機関(ESA)のマトリヨーシカ放射線計測実験装置の設置と配線の接続
- ・ロシア材料曝露実験装置カセットの交換

一方、今回未完となった主な作業は以下の通りです。

- ・「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)後部にあるレーザ反射器の移設
- ・ロシアスラスターの噴射によって生じる汚染物質を収集する汚染モニタ装置の交換
- ・ISS外観の写真撮影

今回実施できなかったこれらの作業は次の長期滞在クルーが行うことになり、フォールとカレリ両宇宙飛行士は今回の滞在期間中には次のEVAを行う予定はありません。

なお、EVAはふたり一組で行うため、EVA実施中にISS内部が無人になったのは今回が初めてでした。



第8次長期滞在クルー



EVAを行うフォール宇宙飛行士

**“ISS計画”**

米国時間2月27日、NASAは「ISSの運用継続に関する実施計画書」の改訂1版(NASA's Implementation Plan for International Space Station Continuing Flight, Rev.1)を公開しました。これによると、NASAはISSの運用を観測して、問題を明確化し、それぞれの問題への対応を設定しています。また、「コロンビア号事故調査委員会(CAIB)報告書」で指摘された改善事項や、「同報告書Vol.II」に掲載された元CAIB委員によるコメントに対応する部分が新たに追加されています。

原文は、以下のURLをご覧いただけます。(PDF3.5MB)

[http://www.nasa.gov/pdf/56217main\\_stationCFT1.pdf](http://www.nasa.gov/pdf/56217main_stationCFT1.pdf)

**“お知らせ”****☆ただ今、研究募集中！**

現在、JAXAが国内外の大学・研究機関・企業等の研究者を対象に募集中の研究公募を2例、紹介します。

**(1)「第7回宇宙環境利用に関する地上研究」(募集締め切り:平成16年4月13日)**

ISS／「きぼう」における有望な宇宙実験テーマの発掘、創出を目指し、宇宙環境利用、微小重力利用の有効性、有用性を秘めた地上研究を発掘することを目的とする。今回は、今までの研究テーマを募集し、研究プロジェクト自体を支援する制度に加えて、微小重力実験を必要とする既存の、もしくは、別途計画されている研究プロジェクトに対して、落下施設や航空機実験の利用機会を提供する支援制度を始めました。



生物科学実験サンプル(線虫)

**(2)「第5回ライフサイエンス国際公募」(募集締め切り:平成16年4月23日)**

ISSを利用した早期の実験機会獲得を目指し、ライフサイエンスおよび宇宙医学分野に関する宇宙実験テーマを公募。今回の国際公募で現在のISSですぐに実施が可能な実験を募集し、スペースシャトルの飛行が再開され次第2004年末から2007年にかけて順次実施することを目指す。このため今回の募集では対象とする生物種や実験内容などに制限があります。



生物科学実験サンプル(アブラナ)

(1)、(2)とも、詳細は、<http://www4.jsforum.or.jp/> をご覧下さい。

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/> Eメール kibo-koho@jaxa.jp

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。